
ひとりゴト

汐風 湊

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ひとりゴト

【Nコード】

N6029F

【作者名】

汐風 湊

【あらすじ】

生活の中で思ったこと、考えたことをそのまま書いた、詞のようなものです。また、制作も挑戦中です。

たんじょうび&そら（前書き）

その時々で感情で書いているため、
暗い内容のものなどもあります。

気分を害されても、
責任は取りかねますので、
ご了承ください。

たんじょうび&そら

birthday

この日に

”おめでとう”という言葉が交わされ、

何人の人が、新たに生を受け

何人の人が、終止符を打ち

何人の人が、同時に時を刻み始めたのだろう。

ある人にとっては意味のある日でも、

他人にとっては、

結局、

ただの数字の並びでしかない。

同じ速さで過ぎていく、普段いっしょの一日と、

なんらかわりはしない。

特別な日だと、

今日の占いを眺めてみたり、

用事もなしに外に出かけてみたり。

せめて何か印象に残る物が欲しいと、

違う何かを求めている

けれど、

自分の中だけの願望で

終わる。

煌々と照り付けていたはずの火の玉は沈み

今日も、

黒に漂う、静かな白い光が瞬き始めた。

ああ、

今年も、

誰にも気づかれず、

年月を重ねた。

くそら

黒糸^{でんせん}にも

透明^{がらす}の枠にも

巨大な塊^{ビル}にも

遮られない、

途切れない青を

視界に満たす。

寝転んで

見上げて

雲が流れていることに

改めて、気付く。

速度の違う雲を

飽きる事無く、眺める。

小さい自分と

現実いまの自分。

些細な事に気付けなくなっている自分に

苦笑する。

瞼を閉じて

夢を見た。

手をつなぎ

雲の上のはしゃぎ回る

どこか似通った、

二人の少女の夢を。

たんじょうび&そら（後書き）

少しでも、共感していただければ、幸いですV

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6029f/>

ひとりゴト

2011年1月16日07時01分発行